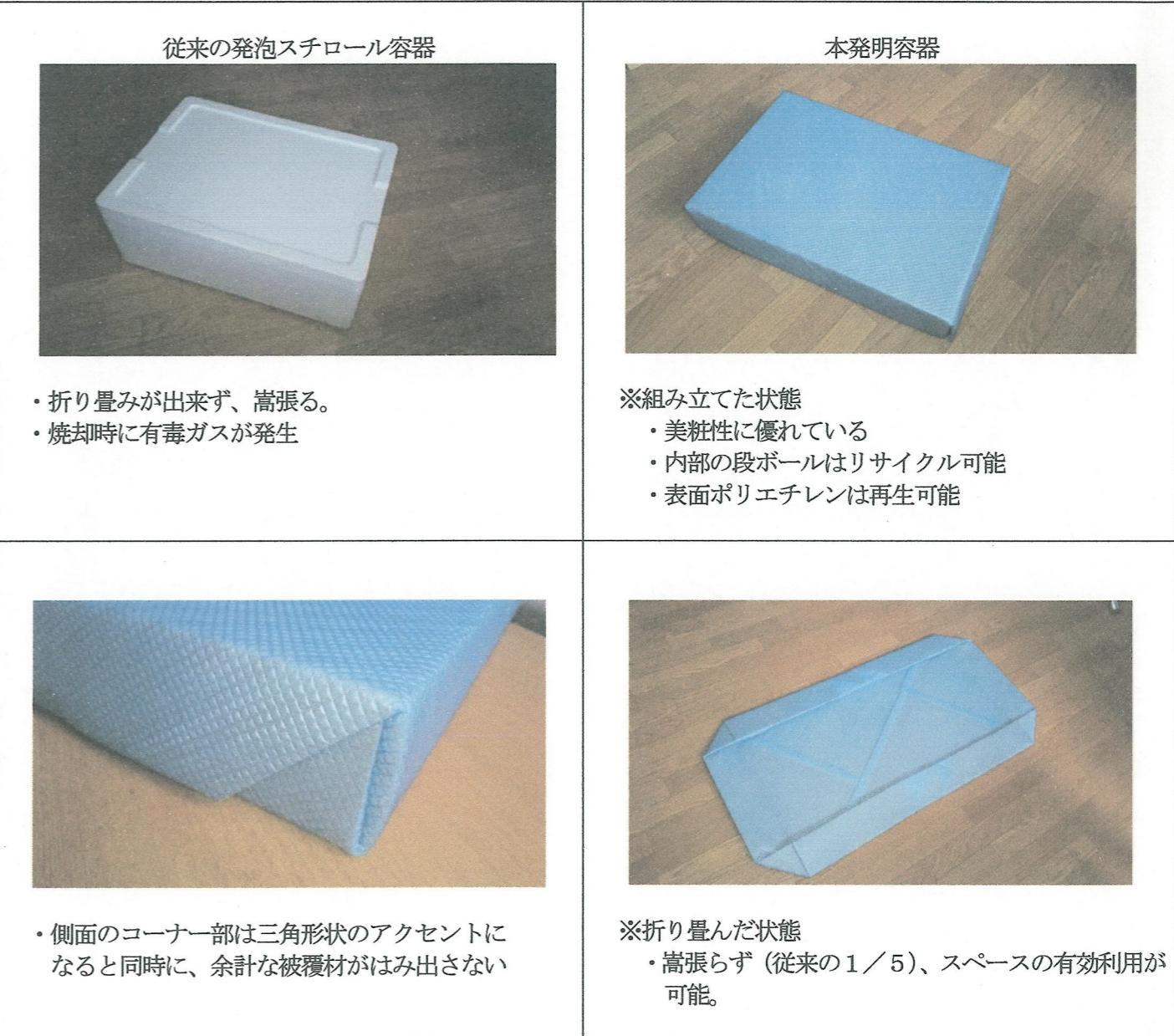


略図、図面、写真等で、簡単に特徴を記入して下さい。(※太枠内でご記入ください)

## 富山県発明とくふう展内容説明書 (審査・展示用)

(第53回)

(1) 企業の部		(2) 一般の部		受付番号 (企) 11
ふりがな	はっぽうすちらるようきにかわるおりたたみかのうなだんねつぼれいようき			
作品の名称	発泡スチロール容器に代わる折り畳み可能な断熱保冷容器			
ふりがな		ふりがな	ながたひろやす	
会社名	ジャパンパック株式会社	発明者名	長田 宏泰 他1名	
特許・実用・意匠の出願状況	<input type="checkbox"/> 未出願 <input checked="" type="checkbox"/> 出願済み	出願・公開番号 2015-109709	登録番号	外国特許他
特徴と要点(必ずご記入下さい)				
<p>特徴： 鮮魚、干物、生鮮食品、ケーキ等には鮮度保持に優れた断熱性のある発泡スチロール容器が使用されている。しかし発泡スチロール容器は使用後、折り畳むことが出来ないため嵩張り、焼却による廃棄処分時は有毒ガスが発生する公害原因となる問題点があった。この発明は段ボールを芯材として使用しているため折り畳みが可能となり、使用後はリサイクルができる。また表面の断熱素材は一般に使用されているポリエチレン素材のため再生が可能。特に贈答用の用途に対応するため、身と蓋の側壁の中間部に露出した三角形状により、美感で気の利いたアクセントとなると同時に、蓋を被せる時に生じる柔軟部の余りが外にはみ出すことの無い、美称性に優れた被覆形の蓋付開閉箱である。</p> <p>要点： 身と蓋とが共通側壁となる中間部を介して前後に並列して倍巾開きとなる、ほぼ矩形の内外にわたって全面的に包む柔軟な被覆材とからなる複合体であり、開き箱形態から蓋が身に反転して被さるように左右側壁の各前後間中間部に芯基材が欠除し被覆材のみからなる内空の柔軟部を設けてなり、共通側壁の左右両端には芯基材から柔軟部内空に突入する支持片が側壁と平行な折れ線を介して突出しており、該折れ線が芯基材の身側の側壁位置よりやや内側に形成してあり、前記柔軟部は、身の側壁の前端に傾斜切り口を設けて芯基材が空く後部柔軟部と、支持片の前端に同方向の傾斜切り口を設けてなる前部柔軟部となることを特徴とする被覆形の蓋付開閉箱である。</p>				



### 記載注意事項

- 審査時は、この説明書が添付資料となりますので記載が不明確な場合は審査にもれることがあります。
- 従来のもの(或いは方法)に比し、どこを(何を)どのように発明・工夫したか、要点を判り易く、図を用いた方が判り易い場合は図面(略図でよい)でご説明下さい。
- 改良くふう箇所が多くある場合、要点をしぼってご記入願います。